
火炙りの山-EDRD'13 (of Bleach)

愛威慈郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

火炙りの山 - EDRD · 13 (of Bleach)

【Nコード】

N3237G

【作者名】

愛威慈郎

【あらすじ】

「漂白」@破面No.13を元に考えた詩です。

(前書き)

龍の紅を瞼に収め
死して初めて己を知る

空に祈る

大地に祈る

雲に祈る

海に祈る

夢に祈る

心に祈る

己に祈る

神に祈る

大義の下に満ち足りて
穿つ刃は吭を裂く

醜い程の強欲こそが美しく
綺麗に飾られる欲望など
あらゆる患者の傲りに等しい

虐げるのだ

己に眠る心を殺せ
獣に成り下がることを恐れるな

殺意を常に張り巡らせて
牙を常に研ぎ澄ませる

俺達は拷問の鎖
格の距離で戒める

慰撫する言葉などあてにはならない
臨む大地は揺れ動き

廻る空は軋割れる
戦くべきは己に在る

己の弱さを理解してしまうことこそに恐怖が疼く

俺達は灼熱に焼かれた灰燼
死して初めて意味を持つ
求められる確実なる凱旋に
瞬く木々と芽は焼け朽ちて
触れる空気が皮膚を刺す
憂えるべきは己に在る
己の闇を美化してしまうことこそに戦慄が走る

蓄えられた煩惱は錆びた刃の悲鳴を知らずに

さあ吠えろ

解き放つのは己の狂気

さあ奮え

砕ける頭蓋の祈りを突き刺せ

虐げるのだ

己に嘯く苦痛を殺せ
天への冒瀆を恐れるな

失せれば死して
反駁は傷を担う

神の唾が逆垂れて
そして脳を貫いた
俺の背骨を嘗めるように
蔑む人の瞼のように

空に祈る

大地に祈る

雲に祈る

海に祈る

夢に祈る

心に祈る

己に祈る

神に祈る

咎める者を理解してはならない

俺は毒を知らない少女のように
名前を知らない獣のように

(後書き)

熾きる刃に捧ぐ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3237g/>

火炙りの山-EDRD'13 (of Bleach)

2010年10月9日19時14分発行